

浅井北だより



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆

令和3年 1月号



「今年もよろしくお願ひいたします」

2021年、新たな年の幕開けです。本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。新学期を迎え、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきたことを嬉しく思います。登校してきた子どもたちの様子から、新しい年への期待や意気込みを感じました。私ども教職員も心新たにスタートラインを引き直し、今年度のまとめとなるよう、子どもたちとともにゴールを目指して走り続けようと思います。2学期末は、新型コロナウイルス感染症拡大を心配しつつ終わりましたが、今後も気持ちを引き締めて感染防止対策をしていきます。体調がすぐれないと感じたときは、無理に登校することなく、早めに医療機関を受診するようにしてください。また、ご家族が、PCR検査を受けることになった場合もご連絡をいただけますとありがたいです。健康には十分に気をつけて、3学期も乗り切っていきたいと思います。



～人権週間での取り組みを忘れずに～

12月4日から10日までの1週間は、「人権週間」でした。学校でも人権週間では、人と人のよりよいつながりについて、授業や児童会を中心とした取り組みで考えさせていきました。

今年度新型コロナウイルス感染症が流行し、学校に来ることや自由に遊ぶこと、人と会うことができなくなりました。今まではあたりまえで気がつかなかったけれど、なくてはいけない大切なものが私たちの周りにはたくさんあったことに、子どもたちも気がついたと思います。そこで、私からは子どもたちが、人との関わりの中でなくてはいけない大切なことは何か、考えてもらうために「ともだち」という絵本を読み聞かせしました。また、児童会からは、「いじめ」について考える劇をZOOMにて配信し、各学級で自分が言われて嬉しい言葉（ふわふわ言葉）について考えました。さらに、道徳や学活の時間等に、より良い人間関係について考える時間をもちました。

こうした取り組みを通して、子どもたちは、日頃から自分自身が大切だと感じていること、または、そうならいいのになと願っていることを改めて振り返ることができたと思います。世の中に同じ人はいません。違うことがあたりまえであると考えてほしいと思います。しかし、一人一人が大切な人であるということは同じです。自分がされて嫌なことはしない、されて嬉しいことはやっあってあげる、子どもたち一人一人が「自分で考えること」「思いやりの輪を広げること」を常に意識して生活を送ることができるよう、引き続き働きかけていきます。



人権週間啓発ポスター

